

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～25℃台を示し、やや低めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の7倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり1.5トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり10kgの水揚げで、前週の53%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1トンの水揚げで、前週の8倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり41kgの水揚げで、前週の2.4倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり240kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、マサバなどが1日1統当たり2.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり99kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり127kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり395kgの水揚げで、前週の75%（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/14～10/19の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）4日延13隻、総計475箱、1航海最高95箱、平均36.5箱。スルメイカ（20～25入）99箱、ケンサキイカ（2立半～3立半）376箱の混獲となった。  
（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-24号 五島灘・五島西沖・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>